

奥入瀬でマラソン大会を

経済効果期待できるも、現時点では難しい



堰野端 展 雄
(高志会)

議員 二〇〇七年に開催された東京マラソンはランニングブームをもたらし、全国のジョギング、ランニング人口は九百万人といわれている。地元の魅力をかき、工夫を凝らした大会が各地で開催され、宿泊などで大きな経済効果を上げている。当市には官庁街通りをメインコースとした駒街

道マラソンがあるが、知名度の高い奥入瀬溪流をメインコースにした大会を新たに開催する考えは。

教育部長

十和田湖、奥入瀬の全国的な知名度の高さから、経済波及効果も大いに期待できると思います。しかし、交通規制や国立公園内であることから、参加者の待機・避難場所の確保等多くの課題があり、現在のところ奥入瀬溪流での開催は難しいと考えています。

重要と考えるが、現在の取り組みは。

市長

事務の改善や政策などに関する職員の提案を奨励することによる事務の効率化を目的に、職員提案制度を設けています。これにより既に実施しているものや、取り組みを進めている提案があります。今後この取り組みなどにより、第二次十和田市行政改革大綱に掲げている、簡素で効果・効率的な行政経営の実現を図っていきます。



多くのランナーが健脚を競う

議員 よりよい行政事務構築のため、職員一人一人が問題意識を持ち、事務を改善していくことが

議員 障害者優先調達推進法が施行されたが、現在の取り組みと今後は。

総務部長

ことし四月から障害者就業施設の事業者に対し、小稲公園ほか十一公園等の清掃・巡回業務を委託しています。今後は、県の方針を参考に調達方針を作成するとともに、実績の公表に取り組みます。また、対象施設での製造品目などの把握や、優先的な調達について各課に働きかけます。



杉山 道夫
(市政・社民クラブ)

議員

二〇二二年の世界の二酸化炭素排出量は三百十六億トンで、前年度比一・四％増。日本は五・八％増で、原発事故の影響と思われる。中国は三・八％増だが、この十年間で最も低い伸び率、米国はシェールガスへの移行が進み、三・八％減で九〇年代半ばの水準。このような中、市長は再生可能エネルギーの拡大にどう取り組むか。

市長

市下水処理場で発生するメタンガスの燃料化や、市庁舎及び一部の学校に太陽光発電を整備しています。今年度は小水力発電への支援、小規模風力発電の実証に取り組みます。

議員

六月十一日現在、各電力会社の発電稼働率は八十五％ほどで、原発

再生エネルギー 市の方向づけを

情報収集し、意見交換進める

に頼らなくても十分間に合っている。朝日新聞のアンケート結果は、原発積極活用は反対五十九％、賛成二十七％、原発再稼働に反対五十八％、賛成二十八％。市長は原発利用をどう考えるか。

市長

安倍首相は施政方針演説にて、安全が確認された原発は稼働すると明言しており、私も今直ちにやめることはできないと考えています。現実的な対応として、可能な限り再生可能エネルギーに移行していくのがこれからの方向だと思っています。

議員

長野県飯田市は、二〇〇七年に環境文化都市宣言し、再生可能エネルギー拡大に取り組んでいる。これに呼応し、民間事業者が市民や全国から集めた資金を元手に、初



飯田市の民間事業者による取り組み